



ダイヤル ルールの設定

- [ダイヤル ルールの概要, 1 ページ](#)
- [ダイヤル ルールの前提条件, 1 ページ](#)
- [ダイヤル ルールの設定タスク フロー, 2 ページ](#)
- [ダイヤル ルールの連携動作と制約事項, 9 ページ](#)

ダイヤル ルールの概要

Cisco Unified Communications Manager は、次のタイプのダイヤル ルールをサポートしています。

- アプリケーション ダイヤル ルール
- ディレクトリ検索ダイヤル ルール
- SIP ダイヤル ルール

管理者はアプリケーション ダイヤル ルールを使用して、Cisco Web Dialer や Cisco Unified Communications Manager Assistant などのアプリケーションのダイヤル ルールの優先順位を追加およびソートします。

管理者はディレクトリ検索ダイヤル ルールを使用して発信者の識別番号を変換し、Cisco Unified Communications Manager Assistant などのアプリケーションで、Assistant Console からディレクトリ検索を実行します。

管理者はSIP ダイヤルルールを使用して、システムのデジタル分析とルーティングを実行します。管理者はSIP ダイヤル ルールを設定し、コール処理が実行される前に、そのSIP ダイヤルルールを Cisco Unified IP Phone に追加します。

ダイヤル ルールの前提条件

- SIP ダイヤル ルールを設定するには、デバイスで SIP を実行している必要があります。

- 管理者は、次のデバイスに SIP ダイヤルルールを関連付けます：Cisco Unified IP Phone 7911、7940、7941、7960、7961、7970、および 7971

ダイヤルルールの設定タスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	アプリケーションダイヤルルールの設定、(2 ページ)	Cisco Web Dialer、Cisco Unified Communications Manager Assistant などのアプリケーションのダイヤルルールを優先順位を追加し並べ替える、アプリケーションダイヤルルールを設定します。
ステップ 2	ディレクトリ検索ダイヤルルールの設定、(3 ページ)	発信者の ID 番号をディレクトリで検索可能な番号に変換するには、ディレクトリ検索ダイヤルルールを設定します。
ステップ 3	SIP ダイヤルルールの設定、(4 ページ)	SIP を実行している電話のダイヤルプランを設定するには、SIP ダイヤルルールを使用します。
ステップ 4	ダイヤルルールの再優先順位付け、(8 ページ)	これはオプションです。複数のダイヤルルールがある場合は、[Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] ウィンドウでダイヤルルールの優先順位を変更します。

アプリケーションダイヤルルールの設定

Cisco Unified Communications Manager は、アプリケーションダイヤルルールをサポートし、Cisco Web Dialer や Cisco Unified Communications Manager Assistant のようなアプリケーションのダイヤルルールの優先順位を追加と並べ替えができます。アプリケーションダイヤルルールを適用すると、ユーザがダイヤルする電話番号に対して数字の追加と削除が自動的に行われます。たとえば、外線発信する場合にはアプリケーションのダイヤルルールにより、7 桁の電話番号の先頭に番号 9 が自動で付加されます。



(注) Cisco Unified Communications Manager は自動的に、CTI リモートデバイスのすべてのリモート接続先番号にアプリケーションダイヤルルールを適用します。

新しいアプリケーションダイヤルルールを追加する、または既存のアプリケーションダイヤルルールを更新するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[コールルーティング (Call Routing)] > [ダイヤルルール (Dial Rules)] > [アプリケーションダイヤルルール (Application Dial Rules)] の順に選択します。
- ステップ 2** [アプリケーションダイヤルルールの検索と一覧表示 (Find and List Application Dial Rules)] ウィンドウで、次のいずれかの手順を実行します。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。
 - [検索 (Find)] をクリックし、既存のアプリケーションダイヤルルールを選択します。
- ステップ 3** [アプリケーションダイヤルルールの設定 (Application Dial Rule Configuration)] ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
-

次の作業

次の作業を実行します。

- [ディレクトリ検索ダイヤルルールの設定, \(3 ページ\)](#)
- [SIP ダイヤルルールの設定, \(4 ページ\)](#)

ディレクトリ検索ダイヤルルールの設定

ディレクトリ検索ダイヤルルールは、発信者の識別情報を、ディレクトリで検索可能な番号に変換します。各ルールでは、先頭の数字および番号の長さに基づいて、変換する数字を指定します。たとえば、10 桁の電話番号から市外局番と 2 桁の局番を自動的に削除するディレクトリ検索ダイヤルルールを作成できます。たとえば、4085551212 は、51212 になります。

新しいディレクトリ検索ダイヤルルールを追加するか、既存のディレクトリ検索ダイヤルルールを更新するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] から、[コールルーティング (Call Routing)] > [ダイヤルルール (Dial Rules)] > [ディレクトリ検索ダイヤルルール (Directory Lookup Dial Rules)] を選択します。
- ステップ 2** [ディレクトリ検索ダイヤルルールの検索と一覧表示 (Directory Lookup Dial Rule Find and List)] ウィンドウで、以下のいずれかの手順を実行します。
- [新規追加 (Add New)] をクリックします。

- [検索 (Find)] をクリックし、既存のディレクトリ検索ダイヤルルールを選択します。

ステップ 3 [ディレクトリ検索ダイヤルルール (Directory Lookup Dial Rules)] ウィンドウ内の各フィールドを設定します。フィールドの説明の詳細については、オンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

次の作業

[SIP ダイヤルルールの設定, \(4 ページ\)](#)

SIP ダイヤルルールの設定

SIP ダイヤルルールは、SIP を実行している Cisco Unified IP Phone のローカルダイヤルプランを提供するため、ユーザは、コールが処理される前に、キーを押したり、タイマーを待機する必要はありません。管理者が SIP ダイヤルルールを設定し、SIP を実行している電話機に適用します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	SIP ダイヤルルールの設定, (5 ページ)	SIP ダイヤルルールを設定および更新し、それらを SIP を実行している電話機と関連付けます。
ステップ 2	SIP ダイヤルルールのリセット, (6 ページ)	SIP ダイヤルルールを更新したときに、新しい SIP ダイヤルルールで電話機が更新されるよう、SIP を実行している電話機をリセットまたは再起動します。
ステップ 3	SIP ダイヤルルール設定と SIP 電話機の同期, (7 ページ)	(オプション) 設定を変更した SIP ダイヤルルールと SIP 電話機を同期します。これによって、最小限の割り込みで未適用の設定を適用します。たとえば、影響を受ける SIP 電話機の一部でリセットまたは再起動を行うは必要ありません。

関連トピック

[パターン形式, \(5 ページ\)](#)

パターン形式

表 1: SIP ダイヤルルールのパターン形式

ダイヤルルールのパターン	値
7940_7960_OTHER	<ul style="list-style-type: none"> • ピリオド (.) は任意の文字と一致します。 • シャープ記号 (#) は終了キーとして機能し、># とのマッチングが見つかった後でのみ、終了を適用できます。そのため、>* は終了文字にアスタリスク (*) が指定されていることを意味します。つまり、終了キーは大なり記号 (>) の後に続く必要があります。 (注) 7940_7960_OTHER で有効になるように、パターンフィールドのシャープ記号を設定する必要があります。 • アスタリスク (*) は 1 つ以上の文字に一致し、ワイルドカードとして処理されます。これは、* の前にバックスラッシュ (\) のエスケープシーケンスを付け、*シーケンスを作ることで上書きできます。電話機は自動的に \ を削除するため、出力ダイヤル文字列には表示されません。* がダイヤル番号として受け取られると、ワイルドカード文字 * およびピリオド (.) によってマッチングされます。 • カンマ (,) は電話機に 2 番目のダイヤルトーンを生成させます。 たとえば、7... は 7 で始まる任意の 4 桁の DN に一致します。8,..... は 8 に一致し、2 番目のダイヤルトーン (デフォルト値) が再生され、次に任意の 5 桁の DN に一致します。

SIP ダイヤルルールの設定

SIP を実行している電話のダイヤルプランを設定します。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で、[コールルーティング (Call Routing)] > [ダイヤルルール (Dial Rules)] > [SIP ダイヤルルール (SIP Dial Rules)] を選択します。
- ステップ 2 [SIP ダイヤルルールの検索/一覧表示 (Find and List SIP Dial Rules)] ウィンドウで、次のいずれかの手順を実行します。

- [新規追加 (Add New)] をクリック
- [検索 (Find)] をクリックし、既存の SIP ダイヤル ルールを選択

ステップ 3 [SIP ダイヤル ルールの設定 (SIP Dial Rule Configuration)] ウィンドウの各フィールドを設定します。フィールドの詳細説明については、オンライン ヘルプを参照してください。

ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。

(注) [Cisco Unified Communications Manager の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] で SIP ダイヤル ルールを追加または更新すると、Cisco TFTP サービスによってすべての電話設定ファイルが再構築されるため、特に多くの電話が接続された大規模なシステムでは、Cisco TFTP サービスを実行するサーバ上の CPU にスパイクが発生する可能性があります。CPU にスパイクを発生させないためには、SIP ダイヤル ルールの追加や更新をメンテナンス ウィンドウで行うか、設定変更を行う前に Cisco Unified Serviceability で Cisco TFTP サービスを一時的に停止してください。Cisco TFTP サービスを停止した場合は、SIP ダイヤル ルールを追加または更新した後、必ず Cisco Unified Serviceability でサービスを再開してください。

次の作業

[SIP ダイヤル ルールのリセット, \(6 ページ\)](#)

関連トピック

[パターン形式, \(5 ページ\)](#)

SIP ダイヤル ルールのリセット

SIP ダイヤル ルールを更新したときに、新しい SIP ダイヤル ルールで電話機が更新されるよう、次の手順を実行して SIP を実行している電話機をリセットまたは再起動します。

はじめる前に

[SIP ダイヤル ルールの設定, \(5 ページ\)](#)

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理から、[コールルーティング (Call Routing)] > [ダイヤルルール (Dial Rules)] > [アプリケーションダイヤルルール (Application Dial Rules)] の順に選択します。
- ステップ 2** [SIP ダイヤルルールの検索と一覧表示 (Find and List SIP Dial Rules)] ウィンドウで、[検索 (Find)] をクリックし、リセットする既存の SIP ダイヤルルールを選択します。
- ステップ 3** [SIP ダイヤルルールの設定 (SIP Dial Rule Configuration)] ウィンドウで、[リセット (Reset)] をクリックします。
- ステップ 4** [デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログボックスで、次のタスクのいずれかを実行します。
 - 選択したデバイスをシャットダウンせずに再起動し、Cisco Unified Communications Manager に登録するには、[再起動 (Restart)] をクリックします。
 - デバイスをシャットダウンしてから再起動するには、[リセット (Reset)] をクリックします。
 - 操作を実行せずに [デバイスリセット (Device Reset)] ダイアログボックスを閉じるには、[閉じる (Close)] をクリックします。

管理者が SIP ダイヤルルールを設定して SIP を実行している電話機に適用すると、データベースから TFTP サーバに通知が送信されます。これによって、SIP を実行している電話機の新しい設定ファイルを作成できます。TFTP サーバは Cisco Unified Communications Manager に新しい設定ファイルを通知します。更新された設定ファイルは電話機に送信されます。詳細については、SIP を実行している Cisco Unified IP Phone の TFTP サーバの設定を参照してください。

次の作業

[SIP ダイヤルルール設定と SIP 電話機の同期, \(7 ページ\)](#)

SIP ダイヤルルール設定と SIP 電話機の同期

SIP 電話機と設定が変更された SIP ダイヤルルールを同期するには、次の手順を実行します。

はじめる前に

[SIP ダイヤルルールのリセット, \(6 ページ\)](#)

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の管理から、[コール ルーティング (Call Routing)] > [ダイヤル ルール (Dial Rules)] > [SIP ダイヤル ルール (SIP Dial Rules)] の順に選択します。
 - ステップ 2 [SIP ダイヤル ルールの検索と一覧表示 (Find and List SIP Dial Rules)] ウィンドウで、[検索 (Find)] をクリックし、適切な SIP 電話機を同期する既存の SIP ダイヤル ルールを選択します。
 - ステップ 3 追加の設定変更を行い、[SIP ダイヤル ルールの設定 (SIP Dial Rule Configuration)] で [保存 (Save)] をクリックします。
 - ステップ 4 [設定の適用 (Apply Config)] をクリックします。
 - ステップ 5 [OK] をクリックします。
-

ダイヤル ルールの再優先順位付け

[ダイヤル ルールの設定 (Dial Rule Configuration)] ウィンドウでダイヤル ルールの優先順位を追加およびソートするには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager の管理から、[コール ルーティング (Call Routing)] > [ダイヤル ルール (Dial Rules)] を選択します。
 - ステップ 2 次のいずれかを選択します。
 - アプリケーション ダイヤル ルール (Application Dial Rules)
 - ディレクトリ検索ダイヤル ルール (Directory Lookup Dial Rules)
 - SIP ダイヤル規則
 - ステップ 3 [検索と一覧表示 (Find and List)] ウィンドウで、ダイヤル ルールを選択し、ダイヤル ルールの名前をクリックします。
[ダイヤル ルールの設定 (Dial Rule Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 4 ダイヤル ルールをリストで上下に移動するには、上矢印および下矢印を使用します。
 - ステップ 5 順序の優先順位付けが完了したら、[保存 (Save)] をクリックします。
-

ダイヤル ルールの連携動作と制約事項

SIP ダイヤル ルール連携動作

SIP ダイヤル ルール連携動作

Cisco Unified IP Phone	データのやり取り
SIP を実行している 7911、7941、7961、7970、7971	これらの電話機は、7940_7960_OTHER ダイヤル ルール パターンを使用します。キー プレス マークアップ言語 (KPML) では、Cisco Unified Communications Manager に数字を 1 桁ごとに送信できます。SIP ダイヤル ルールを使用すると、Cisco Unified Communications Manager に送信する前に、電話で数字のパターンをローカルに収集できます。SIP ダイヤル ルールを設定しないと、KPML が使用されます。Cisco Unified Communications Manager のパフォーマンスを向上させるために (処理されるコール数の増加)、シスコは SIP ダイヤル ルールを設定することをお勧めします。
SIP を実行している 7940 および 7960	これらの電話機は、7940_7960_OTHER ダイヤル ルール パターンを使用しており、KPML をサポートしていません。これらの電話機で SIP のダイヤル プランを設定していないと、ユーザは数字が Cisco Unified Communications Manager に送信されて処理される前に、指定された時間だけ待機する必要があります。これは実際のコールの処理を遅らせます。

ディレクトリ検索ダイヤル ルールの制限

ディレクトリ検索ダイヤル ルールの制限

フィールド	制約事項
開始番号 (Number Begins With)	このフィールドは、数字と文字+、*、#のみをサポートします。長さが 100 文字を超えてはなりません。

フィールド	制約事項
桁数	このフィールドは数字のみをサポートします。このフィールドの値は、パターンフィールドに指定されているパターンの長さより小さくすることはできません。
削除する合計桁数 (Total Digits to be Removed)	このフィールドは数字のみをサポートします。このフィールドの値は、[桁数 (Number of Digits)]フィールドの値より大きくすることはできません。
プレフィックス パターン (Prefix with Pattern)	<p>このフィールドは、数字と文字+、*、#のみをサポートします。長さが100文字を超えてはなりません。</p> <p>(注) 1つのダイヤルルールの [削除する合計桁数 (Total Digits to be Removed)]フィールドと [プレフィックスパターン (Prefix With Pattern)]フィールドの両方を空白にすることはできません。</p>